

受 託 事 業

歴史関連事業及び歴史関連施設の管理運営の受託

1 本館管理運営

東京都江戸東京博物館の施設・設備及び物品の維持管理、観覧料等の徴収事務、利用者サービス業務等を行った。

2 江戸東京たてもの園管理運営

江戸東京たてもの園の施設・設備及び物品の維持管理、観覧料等の徴収事務、利用者サービス業務等を行った。

3 江戸東京博物館ボランティア

市民とのコミュニケーションを豊にし、市民の協力や協働のもとに生涯学習社会にふさわしい市民に親しまれる開かれた博物館を目指して館の活性化を図るため、江戸東京博物館(本館)では平成9年10月1日、江戸東京たてもの園(分館)では平成8年12月4日からボランティア制度の試行実施を行った。

本年は、本館215名、分館264名体制により、本館では7,510件のガイド、分館では、茅葺き農家の燻煙及び団体案内ガイド、自主活動等を行った。

(1) 本館ボランティア

登録人数(平成17年3月31日現在)

215名(女性155名、男性57名)

活動日時

火曜日～日曜日(開館日) 午前10時から午後4時

毎日15人程度のグループで活動

活動内容

・日本人及び外国人来館者に対する案内

日本語、英語、ドイツ語、中国語、フランス語、ハンゲル、スペイン語、ロシア語

・団体来館者に対する事前案内

・下見(実踏)の案内

対応件数(平成16年4月～17年3月)

・外国語による案内件数 3,147件

・日本語による案内件数 4,221件

・団体事前案内件数 78件

・下見(実踏)の案内件数 13件

・子ども相談対応 36件

・スポット解説 15件

その他

- ・平成12年10月3日から、中村座模型内のガイドを開始した。
- ・平成16年4月1日より、予約制によるガイドを本格導入した。

(2) たてもの園ボランティア

登録人数(平成17年3月31日現在)

正規ボランティア「ひじろ会」 180名(女性77名、男性103名)

火曜日班27名、水曜日班26名、木曜日班31名、金曜日班28名、

土曜日班35名、日曜日班33名

臨時ボランティア 84名

活動日時

火曜日～日曜日及び臨時開園日 午前10時から午後5時

(10月から3月は午後4時まで)

活動内容

正規ボランティア

- ・茅葺き農家の燻煙と周辺整備...4棟(吉野家、八王子千人同心組頭の家、天明家、綱島家)
- ・案内ガイド(団体・見所案内・たてもの別・定時)
- ・たてもの園事業への参画(催事の企画・実施、学校連携事業、年中行事等)
- ・自主活動の実施(写真館での撮影、藁細工、風車作り、紙芝居、盆栽、農園作業等)

臨時ボランティア

- ・催事の支援
- ・正規ボランティアの活動支援

対応件数等

- ・茅葺き農家の燻煙と周辺整備(休園日を除き毎日)
- ・団体案内ガイド 172件 6,242人
- ・ボランティア自主活動 15種 798回

その他

正規ボランティアは11回の勉強会と、明治村(愛知県犬山市)への見学会など4回を企画・実施した。また、ボランティアメッセ2004(平成16年5月4日・5日、日本科学未来館)、全国文化財集落施設協議会(平成16年10月28日・29日、福島市民家園)にも参加し、他館のボランティアと交流した。

4 資料収集

新規の購入予算が全くない中、寄贈の申し出の中から厳選し、常設展の資料替えのための資料、常設展示の充実のための資料、博物館の目玉となるような資料、歴史的に保存すべき資料の収集に努めた。

収集実績（収集委員会付議点数）

（単位：点）

区 分	購 入	寄 贈	その他	計	17年3月末累計
標 本 資 料	0	6,454	2	6,456	206,283
図 書 資 料	0	5,408	0	5,408	149,724
映像音響資料	0	190	0	190	20,944
合 計	0	12,052	2	12,054	376,951

標本資料のその他2点は、寄託資料

この他、通年収集され来年度収蔵委員会に付議される購入の逐次刊行物702点

主な寄贈資料（平成16年度）

天野屋関係資料（神田明神前甘酒屋の地下鞠室図面ほか）

清水崑関係資料（漫画類）

鋳職人道具と製品一括（簪類）

八二ホヘト鍵盤のオルガン

5 資料制作

複製資料

資 料 名 徳川種姫婚礼行列図

点 数 2巻

原資料所蔵先 東京国立博物館蔵

説 明 10代将軍家治の養女で、紀州藩主徳川治宝に天明7年11月に入興した種姫の婚礼行列を描いたもの。作者は狩野養和。

6 資料管理・保全

（1）資料の修理

85件（287点）の修理を行った。

（内 訳）

資料分類	件数	点数	資料分類	件数	点数
標 本 資 料	84	188	図 書 資 料	1	99
絵 画	75	102	図 書	1	99
書 跡	0	0			
工 芸 品	4	10	映像音響資料	0	0
生活民俗	4	4			
典 籍	0	0	映 像	0	0
古文書類	1	72			
印刷物	0	0			

(2) 資料の収蔵

平成17年3月末日現在、462,055点(データ点数)を収蔵、管理している。

【内 訳】 標本・映像音響資料 295,669点(うち分館収蔵庫収蔵分 17,687点)
図書資料 166,386点

(3) 資料の貸出

平成17年3月末日現在、博物館等の依頼に応じて、32件(376点)の資料を貸し出した。

7 常設展示

江戸東京博物館5・6階の常設展示室(8,934㎡)において、定期的な展示替えを計24回行い、常時約2,500点の資料を展示するとともに、特集展示や第2企画展を実施した。その際、展示資料の管理、温湿度等展示環境の維持を行った。さらに、常設展の賑わい・楽しさの演出を図るため夏の催し及び正月の催しを実施した。

(1) 特集展示

「水戸徳川家の名宝 ～婚礼調度を中心に～」(平成16年9月14日～10月11日)
「徳川将軍家と鷹狩り」展(平成17年1月5日～2月6日)

(2) 第2企画展

「東京ゆかりの作家たち ～東京都近代文学博物館の移管資料を中心に～」
(平成16年3月23日～5月29日)
「市川團十郎と海老蔵」展(平成16年5月11日～6月27日)
「平成15年度収集 新収蔵品」展(平成16年6月29日～8月22日)
「江戸幕府とロシア」展(平成16年7月17日～9月20日)
「かっぱの世界 ～清水崑漫画展～」(平成16年9月23日～10月31日)
「都市と騒擾の記憶～日比谷焼き討ち事件～」展(平成16年11月9日～1月10日)
「東京大空襲」展(平成17年1月14日～4月10日)

(3) 常設展の賑わい・楽しさの演出

(木・金の夜間、土日祭日に落語、相撲甚句、売り声、太神楽、昔遊び、着物着付け等を催す)

夏の催し(平成16年7月24日～8月31日)

「江戸・東京の芸と音～夏～」

清元、落語、売り声、南京玉すだれ、バイオリン演歌等、芸と音で江戸東京を展示、演出。

「はくぶつかんで遊ぼう」夏休み子供向け体験企画

体験コーナー(昭和初期再現住宅)で昔遊び、浴衣体験等。

「夏休みふれあい体験」

当館ボランティアの「ふれあいスタッフ」中心の子ども体験講座。

歌舞伎「隈取り」、藍染め教室。

夜間賑わい参加 1,520人、体験プログラム参加 643人

正月の催し（平成17年1月5日～1月10日）

鷹狩りの実演（6階の特別展示の連動企画3階広場）参加 500人

浅草～当館間の無料シャトルバス運行。1,606人

富くじ大会（ミュージアムショップ）5,200人

常設展示室内での正月売り声、獅子舞、太神楽の実演。2,430人

実験コーナーでの着物体験、各種正月遊び体験。1,580人

○観覧者実績

区 分	平成16年度(A)	対前年比(A/B)	平成15年度(B)
一 般	718,947人	96.7%	742,948人
学 生	54,508人	109.6%	49,718人
高校生、都外中学生	96,828人	93.7%	103,263人
65歳以上	171,337人	84.2%	203,316人
無料観覧者 (小学生、都内中学生、教育活動)	489,477人	100.4%	487,358人
合計	1,531,097人	96.5%	1,586,603人
1日あたり観覧者数	4,955人	96.1%	5,151人

本実績には、企画展及び共催展の観覧者数を含む。

8 コンピュータシステム（情報システム）の運営

資料の収集から資料の各種事業（常設・企画展示、調査研究、資料のメンテナンス、貸出等）への活用までを支援するとともに、来館者に対して図書室の来館者端末等により資料の情報を文字と画像で提供するため、コンピュータシステム（情報システム）の管理及び運用を行った。

9 AVシステム（映像音響システム）の運営

「館内CATV」「文字ディスプレイ」及び「展示解説システム」により施設・催事案内や常設展示の解説を行うとともに、「映像ホール」「映像ライブラリー」において江戸東京に関連する映像ソフトを提供した。

○映像ホール

上映回数	1日8回（木・金曜日9回）上映
入場者数	80,767人（平成16年4月1日～平成17年3月31日）

○映像ライブラリー

設置ブース数	28台（76人利用可）
映像ソフト数	399タイトル（平成17年3月31日現在）
利用回数	入場者数 107,197人（平成16年4月1日～平成17年3月31日） アクセス回数 36,022回（平成16年4月1日～平成17年3月31日）

収蔵庫からのメッセージ

設置台数	5台
映像入力数	18,964枚（平成17年3月31日現在）

10 図書室の運営

博物館資料として収集した図書の保存及び来館者への閲覧、レファレンスサービスを行った。

○図書室利用状況

図書資料数	151,826点（平成17年3月31日現在）
利用者数	36,847人（平成16年4月1日～平成17年3月31日）

11 野外収蔵（分館「江戸東京たてもの園」）

平成17年3月31日現在、27棟を公開している。なお移築対象建造物の復元工事は休止している。

（1）入園者実績

区 分	平成16年度(A)	対前年比(A/B)	平成15年度(B)
一 般	118,023人	68.9%	171,293人
大学生・専門学校生	12,334人	78.7%	15,657人
高校生、都外中学生	3,305人	60.0%	5,503人
65歳以上	27,714人	74.1%	37,363人
無料観覧者 (小学生、都内中学生、教育活動等)	95,873人	73.5%	130,278人
合 計	257,249人	71.4%	360,094人
1日あたり観覧者数	830人	71.7%	1,158人

（2）特別展

今年度は、本館の企画展と当園の普及事業と連動して相乗効果を発揮するように特別展を企画し、これまで最多の5本開催した

「幕末の江戸と多摩 新選組の時代」

期 間	平成16年3月27日(土)～平成16年5月30日(日)
内 容	本館の企画展「新選組！展」と連動して実施した。当園では、新選組を生み出した多摩地域独特の土壌や、新選組が活動した幕末の江戸と多摩の社会情勢を取り上げた。特に展示室の床一面に描いた幕末の江戸と多摩の地図は、好評を博した。 関連事業：ミュージアムトーク（学芸員による展示解説） 5回 講演会 6回

「中世、埋められたモノたち 銭の力・石の力・地の力」

期 間	平成16年6月15日(火)～平成16年7月14日(日)
内 容	同時期に本館で開催された「発掘された日本列島2004 新発見考古速報展」の関連展示。当園では多摩地域の中世を取り上げた。特に中世の人が「埋めたモノ」に着目し、大量の出土銭（銭の力）、板碑（石の力）、地下式坑（地の力）の3つを主に紹介した。 関連事業：ミュージアムトーク（学芸員による展示解説） 2回

「水木しげるの妖怪道五十三次 妖怪と遊ぼう展 」

期 間	平成16年7月21日(水)～平成16年9月5日(日)
内 容	<p>本館の「大(Oh!)水木しげる展」の予告展として開催した。今「妖怪道五十三次」は、漫画家の水木しげる氏が、歌川広重描くところの「東海道五十三次」を妖怪たちが旅をしたらどんな旅になっただろうか、と制作された。江戸の日本橋を出発し、東海道のひょっこり現われる日本全国の妖怪たちが人々を驚かしたり、ふざけたりしながら旅をしている様子が描かれている。</p> <p>関連事業：妖怪クイズラリー 会期中 鬼太郎下駄飛ばし 3回</p>

「武蔵野文学散歩展 都市のとなりのユートピア 」

期 間	平成16年9月14日(火)～平成16年11月28日(日)
内 容	<p>武蔵野は都市東京に近接する場所として、国木田独歩や徳富蘆花、井伏鱒二、太宰治などの文学作品の舞台に取り上げられた。本展は、武蔵野ゆかりの作家や作品の魅力を紹介することによって、武蔵野の自然と生活が、東京の発展にともなって変化する姿を理解し、今日の都市と自然の共生を考える契機とすることを企図した。なお本展は、学芸員の自主企画として本館と連携して実施した。</p> <p>関連事業：文学ゆかりの地を歩く・武蔵野 3回 たてもの園文学散歩 1回 文学朗読会(俳優 久米明氏) 2回 たてもの園・作家のいる風景 人形とたてものによるコラボレーション - (人形作家・写真家 石塚公昭氏) 会期中</p>

「ドラえもんとはらっぱ 土管はワンダーランドの入り口 」

期 間	平成16年12月7日(火)～平成17年6月26日(日)
内 容	<p>昨年度の「はらっぱ展」の続編として実施した。マンガ「ドラえもん」に描かれたはらっぱ(空き地)の世界を紹介した他、当園らしく、登場人物たちの住む街や主人公のび太の家を1/5で再現した他。また園内の「はらっぱ」で遊ぶひみつ道具をつくる体験コーナーを設け、ドラえもんの世界と「はらっぱ」の魅力を分かち合った。</p> <p>関連事業：ドラえもんキャラクター・ショー はらっぱ大会開催時 1日2回 3日間(計6回)</p>

(3) 下町通り伝統芸「たてもの園「技」のフェスティバル

やってみよう、みてみよう。職人の技、大工の技」

今年度は、建物や伝統工芸をつくる大工や職人の技に注目して、実演や体験講座を園内各所で実施した。また建物をより詳しく紹介する企画として、普段公開していない商店の2階、3階や地下室、納戸なども案内する「たてもの特別公開 すべて見せます！ 屋根裏から地下室まで」をボランティアの協力によって実施した。

期 間 平成16年11月6日(土)、7日(日)の2日間
会 場 江戸東京たてもの園 全域での展開
内 容 伝統工芸の実演10組、伝統工芸の体験10組
建造物特別公開 26棟、特別園内ガイドツアー 4コース
和傘・文具・駄菓子の販売
参加者数 5,096人

(4) 伝統工芸の実演

江戸東京に残る伝統工芸の実演を行った。

期 間 平成16年4月～17年3月のうち24日間
会 場 江戸東京たてもの園 植村邸、川野商店他
内 容 籐工芸、有職畳、琴、手描き江戸錦凧、東京手描き友禅、寄木、組紐、
木版画、江戸指物、東京桐箆笥、江戸木彫刻、漆工芸、東京仏壇、陶芸、
座敷簞、バイスケ、押し絵羽子板、手描き提灯、金網、和裁、村山大島紬
観覧者数 当日入園者

(5) 情景再現事業

「七夕折り紙教室」「正月お飾りづくり」及び「体験!!職人さん」の3回の体験型情景再現を開催し、延べ341人の参加があった。また今年度は情景再現事業の一環で、季節ごとの催しとして、春「子どもの日」夏「下町夕涼み」冬「はらっぱ大会」の各イベントを行った。(秋のイベントは例年開催している下町通り伝統芸「たてもの園フェスティバル」)。

七夕折り紙教室

期 間 平成16年6月26日(土)、27日(日)の2日間、4回
会 場 江戸東京たてもの園 吉野家(農家)
指 導 たてもの園ボランティア、職員
参加者数 126人

正月お飾りづくり

期 間 平成16年12月11日(土)、12日(日)の2日間、4回
会 場 江戸東京たてもの園 吉野家

講 師 たてもの園ボランティア、職員
参加者数 87人

「子どもの日イベント」

園内西ゾーンで昔の子ども遊び、多摩の野試合際(チャンバラ合戦)、園内東ゾーンでお使いゲームを行った。

期 間 平成16年5月4日(火)、5日(水)の2日間
会 場 江戸東京たてもの園 西ゾーン、東ゾーン
参加者数 3,285人

夜間開園「下町夕涼み」

昨年度好評だった夜間開園を引き続き行った。園内東ゾーンの商店で実際に買い物ができるようにしたほか、縁日の夜店を設けた。また子宝湯で落語、はらっぱでは盆踊りを行った。開催中の特別展「水木しげるの妖怪道五十三次 妖怪と遊ぼう展」にちなみ、妖怪クイズラリーと鬼太郎下駄飛ばし大会も行った。

期 間 平成16年7月25日(日)、31日(土)、8月1日(日)の3日間
会 場 江戸東京たてもの園全域
参加者数 15,555人(当日来園者)

「はらっぱ大会」

昭和初期のたてものが並ぶ東ゾーンのはらっぱを中心に、三角ベース、ベーゴマ、竹馬、輪まわしなどの懐かしい遊びを行った。はらっぱに付き物の駄菓子屋、つぼやきイモの販売、紙芝居の実演を行った。特別展「ドラえもんとはらっぱ 土管はワンダーランドの入り口」と連動して、ドラえもんのキャラクターショーも併せて実施した。

期 間 平成17年2月11日(金・祝)、12日(土)、13日(日)の3日間
会 場 江戸東京たてもの園全域
参加者数 9,280人(当日来園者)

(6) 学校連携事業

「藍の育成と藍染め体験」「大根の栽培と大根干し」「昔のくらし体験」「ひじろっ子(子どもボランティア)」「教員研修」「教員初任者研修」「校外学習」「職場体験」を実施した。

藍染め体験

建染めを行い、染色体験をした。

参加校：7校

大根の栽培と大根干し

間引きなどの大根の世話と大根干しを体験し、保存食について学習した。

参加校：1校

昔のくらし体験

園内茅葺き民家内などで、石臼での粉ひきや火鉢体験、雨戸の開け閉てなどを体験するほか、昔の道具探しなどを実施した。

参加校：43校

子どもボランティア「ひじろっ子」

夏休み期間中に、小学生の「小さな社会貢献」として茅葺き民家の掃除、民家の解説、独楽や竹馬などの遊びの指導、小金井公園桜守とともに桜の調査などを行った。

また。イベント時にはボランティアとして園の事業を支援した。

参加人数：25人

教員研修

小金井市、国分寺市、小平市の教員に対し、学校連携での活用方法等の研修を行った。

参加人数：67人

教員初任者研修

小金井市、小平市の教員初任者に対して、3日間の学校外活動（ボランティア活動）として、当園ボランティア活動に体験参加した。

参加人数：14人

校外学習

都立高校生がボランティア活動及び体験学習を行った。

参加人数：24人

中学生が各自テーマに沿った調べ学習を行った。

参加人数：17名

職場体験

中学生の職場体験を行った。

参加人数：6人

12 研 究

都市歴史研究室は、江戸東京学の研究センターとして「館蔵資料との対話」をめざし、

グランドテーマ 1 都市江戸東京の総合研究

2 江戸東京に関する専門的研究

3 文部科学省科学研究費特定領域研究「江戸のモノづくり」関連研究

のもと、歴史・生活文化・都市構造等の分野から調査研究を行い、博物館活動の基礎を支える。成果は常設・企画展示のほか、ミュージアムセミナーや体験教室などの教育普及事業に反映し、リピーターの拡大とクオリティの向上を図り、『研究報告』『調査報告書』『史料叢書』といった刊行物を通し、江戸東京の歴史、生活文化、都市構造に関する都民の知的要望に応える。また、次代の博物館を担う人材育成のため学芸員資格取得のための博物館実習を受け入れる。さらに博物館と学校との連携の一環として、総合的学習の訪問学習を受け入れ、10年後、20年後のリピーターを確保する。

(1) 課題研究 (個人単位の研究)

グランドテーマにもとづき、研究室員一人一人が歴史、生活文化、都市構造の3分野から専門的なテーマを設定し、研究を進める。随時、研究会で研究報告を行い、成果はミュージアムセミナー等を通して都民に直接示すほか、『研究報告』および『調査報告書』等出版物を通して広く公開する。

(2) 共同研究 (団体研究)

グランドテーマにもとづき、研究室員を中心に館職員や外部の研究者や機関と共同して、歴史、生活文化、都市構造の3分野から総合的なテーマを設定し、研究に取り組む。研究成果は『研究報告』への論文掲載、『調査報告書』の作成、シンポジウムの開催、常設展示への活用、企画展示の開催など都民に分かりやすい形で公開する。

研究テーマ

1 都市江戸東京の総合研究

1) 歴史研究「江戸と江戸城」

課題研究「江戸城内の儀礼と生活」

課題研究「江戸城の保守・補修に関する研究」

課題研究「館蔵江戸図に関する調査・研究」

2) 生活文化研究「江戸と情報文化」

課題研究「浮世絵と情報文化」

課題研究「江戸の火事と情報文化」

課題研究「江戸歌舞伎と情報文化」

課題研究「摺物と情報文化」

3) 都市構造研究「丸の内の総合的研究」

課題研究「丸の内 建築・都市の変遷」

課題研究「曲輪内の史的様相」

課題研究「丸の内と文学」

2 江戸東京に関する専門的研究

課題研究「江戸東京のモノづくりー技術と文化」

課題研究「コンピュータ・グラフィックによる建築・街並み復元」

課題研究「江戸東京たてもの園の収蔵建造物に関する研究」

課題研究「江戸東京の名所絵」

課題研究「江戸における庶民教育の諸相」

共同研究「石井良介氏収集資料の総合的調査研究」

共同研究「勝海舟関係資料に関する研究」

基礎調査「川村清雄収蔵資料研究」

- 3 文部科学省科学研究費特定領域研究「江戸のモノづくり」関連研究
共同研究「館蔵・赤木清士氏収集産業技術史関係資料の調査研究」
(「江戸のモノづくりー赤木コレクション調査研究」)

(3) 研究会の開催

調査・研究活動成果の発表を中心とする研究会を5回開催した。

	期 日	発 表 者	内 容
1	平成16年 7月29日(木)	見学会	旧江戸城(皇居)見学会
2	12月 3日(金)	小澤 弘 松尾美恵子 石山 秀和 我妻 直美 田原 昇 山崎 尚之 我妻 直美 金子 未佳 高山 慶子	シンポジウムに向けて ミュージアムセミナー「江戸城と丸の内」 講師による内容報告会
3	12月17日(金)	岩城 紀子	第二企画展「都市と騒擾の記憶 日比谷焼き討ち事件」について
4	平成17年 3月16日(水)	原信田 実 (翻訳家)	安政大地震の痕跡
5	3月24日(木)	波多野 純 (日本工業大学)	江戸の武家屋敷

(4) シンポジウムの開催

テーマは「江戸城と丸の内」。同シンポジウムは都市歴史研究室のグランドテーマによるとともに、秋期ミュージアムセミナーにおける8回連続オムニバス講座「江戸城と丸の内」の、総括的な位置付けとして企画した。丸の内という地域の江戸時代から現代にいたる諸相について、様々な角度から検討を加えた企画。

開催日 平成16年12月11日(土)

会 場 江戸東京博物館 1階ホール

参加者 延べ540名

パネリスト： 客員教授 松尾美恵子 テーマ 「江戸城門の内と外」
東京都写真美術館 原 史彦 テーマ 「写された江戸城」
助教授 米山 勇 テーマ 「近代都市・丸の内の容貌」
司 会 教授 小澤 弘

(5) 基礎調査

館蔵資料の調査

江戸東京の都市歴史や生活文化に関する基礎的な調査を行うとともに、館蔵資料について基礎的・学術的な調査・分析を行った。

調査テーマ	調査内容
1 館蔵・勝海舟日記の調査	筆耕 解説文の作成
2 石井良助氏収集の悉皆調査	目録作成

『史料叢書』の刊行

館蔵の文献史料の情報を広く公表するために『勝海舟関係資料』と『史料叢書』8の編集・刊行を行った。

『江戸東京博物館史料叢書 勝海舟関係資料』

- 1) 名 称 『江戸東京博物館史料叢書 勝海舟関係資料 勝海舟日記(三)』
- 2) 発行年月日 平成17年 2月28日
- 3) 発行部数 700部

『江戸東京博物館資叢書』8

- 1) 名 称 『東京都江戸東京博物館史料叢書 8
四谷塩町一丁目 人別関係補遺・近世祭礼編』
- 2) 発行年月日 平成17年 2月28日
- 3) 発行部数 700部

(6) 『研究報告』の刊行

江戸東京博物館での研究成果を公表するため、『研究報告』第10号、第11号を刊行した。

『研究報告』第10号

- 1) 名 称 『東京都江戸東京博物館研究報告』第10号
- 2) 発行年月日 平成16年10月31日
- 3) 発行部数 1,500部

『研究報告』第11号

- 1) 名 称 『東京都江戸東京博物館研究報告』第11号
- 2) 発行年月日 平成17年 3月18日
- 3) 発行部数 1,500部

(7) 学芸員実習の受け入れ

将来の博物館を担う人材の育成と、当館の博物館活動の社会還元のために、学芸員資格取得に必要な博物館実習を受け入れた。

実習受け入れを通知した機関 253件
 申込者数 34名
 受入者数 20名
 期 間 平成16年8月16日(月)～8月27日(金)
 カリキュラム

実施日	スケジュール	実施内容	実施形式	担当係
1日目 8月16日 (月)	オリエンテーション	館長挨拶・概要説明・館内外動線及び主要施設案内・自己紹介	講義 見学	都市歴
	管理施設	管理施設の案内	講義・見学	管理係
	企画展示	企画展示ができるまで	講義・見学	展示営業係
2日目 8月17日 (火)	図書室の運営	図書室・図書資料の概要と見学	見学	資料・図書係
	常設展示(1)	常設展示の概念・見方	講義	展示営業係
	常設展示(2)	常設展示の見学	見学	展示営業係
3日目 8月18日 (水)	広報活動	広報活動の概要、友の会概要	講義	普及係
	営業活動	営業活動について	講義	展示営業係
	映像施設の運営	映像施設の概要と見学	見学	資料・図書係
4日目 8月19日 (木)	資料の保管・管理	資料の保管の方法(クリーニング実務など)、管理システム	講義・実習 見学	資料・図書係
	ボランティア活動	ボランティア解説体験 (受け手側) 博物館ボランティアについて	見学・体験 講義	普及係
5日目 8月20日 (金)	たてもの園	園概要説明、移築復元の講義	講義	たてもの園
	(於:本館)	建物現場見学	見学	たてもの園
6日目 8月23日 (月)	たてもの園 (於:たてもの園)	園内業務実習、自由見学	実習・見学	たてもの園
	教育事業	建物現場見学	見学	たてもの園
7日目 8月24日 (火)	常設展示	園内業務実習、自由見学	実習・見学	たてもの園
	資料の収集・取扱い	標本資料の取扱い(軸・卷子) 資料カードの作成 資料写真撮影	実習	展示営業係 実習PT
8日目 8月25日 (水)	展示実習	会場設営	実習	展示営業係 実習PT
		展示テーマ検討		

実施日	スケジュール	実施内容	実施形式	担当係
9日目 8月26日 (木)	展示実習	キャプション作成・展示作業	実習	展示営業係 実習PT
		展示作業 批評会		
10日目 8月27日 (金)	広報実習	広報計画作業 発表会	実習	普及係 実習PT
	学芸員実習のまとめ	実習総括(室長)・挨拶(副館長)	講義	都市歴

(8) 研修生の受入

将来の社会を担う人材の育成と、他館職員との相互研鑽のために、当館の博物館活動の社会還元として各種研修を受け入れた。

消防博物館職員研修

消防博物館職員に、当館の全体的な設備・活動等についての研修を行った。

期 間 平成16年7月22日(木)～7月29日(木) 内5日間

場 所 江戸東京博物館本館・たてもの園

参加者数 1名

東京未来塾生

東京都教育庁が募集・選抜した、東京未来塾生(将来社会に貢献することを目指して首都大学東京への入学を希望する高校生)に対して研修を行った。

期 間 平成16年8月12日(木)・13日(金)

場 所 江戸東京博物館本館・たてもの園

参加者数 3名

都庁新人研修

平成17年度都庁採用予定者の新任事前研修の一環として研修を行った。

期 間 平成17年3月3日(木)・4日(金)

場 所 江戸東京博物館

参加者数 700名

(9) 博学連携

当館の入館者増とリピーターの確保及び平成14年度から実施された完全学校週五日制と「総合的学習」に対応のため、博物館と学校との連携事業を展開している。当館を学習の場として希望する生徒を対象に「訪問学習」を実施するとともに、都内小・中学校教職員向けの『江戸東京博物館活用ガイド』を増刷し、周知を図っている。

1) 訪問学習の実施

実績

学芸員 : 博学ボランティア (9 名) - 歴史学習対応

展示営業係学芸員 - 職場訪問対応

参加人数 637 人

参加学校数 99 校 (中学校 98 高等学校 1)

13 広報・出版

(1) 本館

種別	名称	実績
館内案内	江戸東京博物館 案内パンフレット	日本語版 730,000部 英語版 50,000部 中国語版 10,000部
	江戸東京博物館A3リーフレット	12,000部
	子ども向けガイドブック	50,000部
周辺案内	両国・浅草エリアマップ	日本語版 30,000部 英語版 30,000部
定期刊行物	江戸東京博物館要覧(03年版) 江戸東京博物館ニュース	年1回発行 3,500部 年4回発行 延280,000部
取材対応		629件 *申請件数に基づき取材対応を行った件数
インターネット ホームページ	日本語版、 英語版、 中国語版、 ハングル版 キッズサイト	アクセス件数 5,319,363件 40,634件 13,945件 13,003件 242,888件
メールマガジンの配信	江戸東京博物館ニュースレター	年12回配信 (17年3月配信時) 4,764通
プレス資料の郵送	催し物のご案内	年12回発送 (17年3月発送時) 304通
広告の掲載	年鑑誌「修学旅行のすべて」 月刊誌「修学旅行」 すみだTOWN情報紙 「博物館研究」	年1回掲載 年1回掲載 年12回掲載 年12回掲載

(2) 分館

種 別	名 称	実 績
館内案内 ガイド	江戸東京たてもの園 案内リーフレット	150,000部
	子ども向けパンフレット	改定版 9,000部
定期刊行物	たてもの園だより	年2回 延 80,000部

14 地域子ども教室推進事業

(1) 本館

平成16年度より文部科学省では、放課後や休日に、地域の大人の協力を得て、「子どもの居場所」をつくり、スポーツや文化活動など多彩な活動が展開されるよう、家庭、地域、学校が一体となって取組む「子どもの居場所づくり新プラン」を実施している。

江戸東京博物館においても、財団法人日本博物館協会を通じてこの取り組みに参加した。特に、常設展示室体験コーナーにおいて、平日の午後、授業終了後、地域の子どもの居場所となるような取り組みとして「放課後の居場所づくり」を開始した。

期 間 平成16年11月20日(土)～平成17年3月31日(木)

会 場 江戸東京博物館 常設展示室 学習室 博物館周辺 ほか

参加者数 4,202人(放課後の居場所づくりの参加者を含む)

(2) 分館

江戸東京寺子屋実行委員会「武蔵野えどまる団」

文部科学省が推進している「地域子ども教室推進事業」の一環として、“遊び”を軸にし、江戸東京たてもの園のボランティアや近隣のサークル、大学生などの地域諸団体と実行委員会を組織し、子どもの居場所を作る活動を展開した。

内 容

指令1	平成16年10月	ベーゴマに挑戦・どんぐりごまを作ろう!
指令2	11月	さあ秋だ、落ち葉のプールでひと泳ぎ!
指令3	12月	昔の遊び道具を作れ!
指令4	平成17年 1月	夢と希望を大空に舞い上げろ!
指令5	2月	風雲えどまる城 冬の陣
指令6	3月	わらとたわむれろ!

15 高齢者元気プロジェクトの開始

将来、介護の生じそうな高齢者が、古い資料や映像と接することにより若い頃を回想し、元気を出す取り組みを開始し、東京都老人研究所等との共同研究会を実施した。また、墨田区の老人クラブの協力を得て、区在住の高齢者グループの受け入れも行った。

講座名	実績
1 東京昔がたりの会 (第1回) 昔のあそび	開催日 平成16年11月20日(土) 会場 常設展示室5階体験コーナー 参加者 27人 当日先着順
2 両国まちの居場所づくり 歩こう、探そう、 たたズモウ (第1回)	開催日 平成16年11月23日(火) 会場 江戸東京博物館周辺 3階江戸東京ひろば 参加者 22人 応募者 22人
3 東京昔がたりの会 (第2回) 運ぶ道具	開催日 平成16年12月18日(土) 会場 常設展示室5階体験コーナー 参加者 17人 当日先着順
4 東京昔がたりの会 (第3回) 戦時下の暮らし	開催日 平成17年1月15日(土) 会場 常設展示室5階体験コーナー 参加者 12人 当日先着順
5 世界かたりの会 ノルウェーの暮らし	開催日 平成17年1月29日(土) 会場 常設展示室5階体験コーナー 参加者 21人 当日先着順
6 相撲体操教室	開催日 平成17年2月6日(日) 会場 両国国技館 参加者 149人 応募者: 812人
7 東京昔がたりの会 (第4回) 畳のある暮らし	開催日 平成17年2月19日(土) 会場 常設展示室5階体験コーナー 参加者 21人 当日先着順
8 東京昔がたりの会 (第5回) 写真館	開催日 平成17年3月12日(土) 会場 常設展示室5階体験コーナー 参加者 20人 当日先着順
9 両国まちの居場所づくり 歩こう、探そう、 たたズモウ (第2回)	開催日 平成17年3月19日(土) 会場 常設展示室5階体験コーナー 参加者 22人 応募者20人
10 学芸員のお仕事体験	開催日 平成17年3月29日(火) 会場 江戸東京博物館学習室 参加者 18人 応募者20人

16 両国協力会による地域活性化の推進

両国協力会は、両国を地盤とする地元企業、施設が、両国の活性化と未来の両国を考え、さまざまな活動を展開していく自主的な任意団体である。両国の魅力を多くの人に伝えるため、平成16年度は、江戸東京博物館、両国国技館を会場に、両国にぎわい祭りを開催した。

(1) 両国協力会構成団体

東京都江戸東京博物館、財団法人日本相撲協会、株式会社パイオニア
ザ・ホテル・ベルグランド、有限会社東新、両国アクアハウス江戸遊、
財団法人東京都公園協会事業部水辺事業課 東京水辺ライン、
東日本旅客鉄道株式会社 両国駅、
東京都交通局電車部上野御徒町駅務管理所上野御徒町駅務区 両国駅、
国技館サービス株式会社、ユアサ・フナシヨク株式会社、両国パールホテル、
株式会社第一ホテル両国

(2) 第1回両国にぎわい祭り

期 間	平成16年4月3日(土)～4月11日(日)
会 場	江戸東京博物館3階ひろば、両国国技館エントランスホール
主 催	両国にぎわい祭り実行委員会、両国協力会
後 援	墨田区、墨田区文化観光協会
協 賛	東京東信用金庫、ライオン他
内 容	地元商店等によるバザー ちゃんこ鍋 大道芸、ブラスバンド演奏、太鼓演奏、スタンプラリーなど
入場者数	約50,000人

(2) 第2回両国にぎわい祭り

期 間	平成16年8月6日(金)～8月8日(日)
会 場	両国国技館エントランスホール
主 催	両国にぎわい祭り実行委員会、両国協力会
後 援	墨田区、墨田区文化観光協会
協 賛	東京東信用金庫、ライオン他
内 容	墨田区産業組合によるバザー 地元オールディーズバンドによるライブ 国技館バックヤードツアーなど
入場者数	約15,000人

(参考) 開館からの観覧者数等の実績

(単位:人)

観覧者数	平成5年度	平成6年度	平成7年度	平成8年度	平成9年度	平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	累計
本館	3,087,065	2,042,040	1,599,808	1,465,362	1,199,943	1,317,964	1,217,624	1,173,473	1,463,642	1,499,051	1,586,603	1,531,097	19,183,672
常設展示	2,647,714	1,734,764	1,349,527	1,165,648	989,394	951,756	850,151	835,233	889,188	868,001	1,041,436	860,258	14,183,070
企画展示	439,351	307,276	250,281	299,714	210,549	366,208	367,473	338,240	574,454	631,050	545,167	670,839	5,000,602
分館(たてもの園)	245,401	161,142	166,732	202,559	169,941	158,234	158,981	169,486	257,729	272,503	360,094	257,249	2,580,051
合計	3,332,466	2,203,182	1,766,540	1,667,921	1,369,884	1,476,198	1,376,605	1,342,959	1,721,371	1,771,554	1,946,697	1,788,346	21,763,723
普及事業入館者数													
本館	288,189	215,233	168,242	118,402	104,933	143,505	135,520	128,190	139,399	209,203	255,651	152,056	2,058,523
分館	5,952	3,195	1,768	2,430	1,608	2,320	9,344	13,420	24,249	15,294	23,642	9,572	112,794
合計	294,141	218,428	170,010	120,832	106,541	145,825	144,864	141,610	163,648	224,497	279,293	161,628	2,171,317
総計 +	3,626,607	2,421,610	1,936,550	1,788,753	1,476,425	1,622,023	1,521,469	1,484,569	1,885,019	1,996,051	2,225,990	1,949,974	23,935,040
(参考)													
貸出施設利用者数	43,140	45,769	63,701	60,650	141,122	151,057	112,283	97,865	154,038	119,541	165,008	126,413	1,280,587